

家庭「小中連携」 T.M教諭

学校相互間の連携や交流『学習指導要領解説総則編』

「学校同士が相互に連携を図り、積極的に交流を深めることによって、学校生活をより豊かにするとともに、児童の人間関係や経験を広げるなど広い視野に立った教育活動を進めていくことが必要」とされている。また、中学校との間で、児童生徒の実態や指導の在り方などについて理解を深めることは、「それぞれの学校段階の役割の基本を再確認することになるとともに、広い視野に立って教育活動を改善・充実を図っていく上できわめて有意義であり、幼児児童生徒に対する一貫性のある教育を相互に連携し協力し合って推進するという新たな発想や取組が期待される」と示されている。

【授業の流れ】

- (1) 小学校での既習事項を確認。 → 元気に反応する児童たち。
- (2) 本時のねらいを確認。
「食品に含まれる栄養素を知ろう」



- (3) 手作りの黒豆ジュースを試飲する。
※見た目はぶどうジュースだが、栄養素が異なることを知る。
※畑の肉と言われる大豆は、育ち盛りで思春期の中学生には大変有効。



- (4) 中学校の学習内容（食品を6群まで分類）を紹介する。
ロイロノートを活用して、様々な食品の分類を行う。

※写真をタップすると、拡大される。



- (5) 答え合わせ
※間違いやすい食品（しょうゆ、油揚げ、炭酸ジュース）などを確認。

- (6) 中学校の学習に興味を持たせる。
※調理実習、家の設計など。



- (7) 感想をロイロノートで提出
※児童から「しょうゆが第1群だと知ることができて良かった」との感想あり。

